



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東
コード番号 7762 URL <https://www.citizen.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大治 良高
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報IR室担当 (氏名) 小林 啓一 TEL 042-468-4934
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	98,129	30.3	9,913	110.9	11,767	90.8	8,921	△2.9
2026年3月期第1四半期	75,282	△0.8	4,699	0.3	6,166	△16.1	9,186	7.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 10,449百万円(161.6%) 2026年3月期第1四半期 3,994百万円(△74.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	36.56	—
2026年3月期第1四半期	37.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	478,732	306,729	62.2	1,220.89
2026年3月期	468,303	302,132	62.6	1,201.61

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 297,889百万円 2026年3月期 293,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	23.50	—	23.50	47.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	26.50	—	26.50	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	196,000	23.1	20,500	57.9	22,500	38.9	17,000	43.1	69.67
通期	395,000	13.9	40,500	33.9	43,500	13.1	32,000	2.9	131.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	246,000,000株	2026年3月期	246,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,006,479株	2026年3月期	2,006,134株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	243,993,651株	2026年3月期1Q	243,868,147株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、時計事業と工作機械事業の販売が想定を上回り伸長したほか、デバイス事業の販売も好調に推移し、売上高は981億円(前年同期比30.3%増)、営業利益は99億円(前年同期比110.9%増)と大幅な増収増益となりました。また、経常利益は、為替差益の増加や持分法による投資利益の増加などにより、117億円(前年同期比90.8%増)と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の減少により、89億円(前年同期比2.9%減)と減益となりました。

(時計事業)

ウォッチ販売のうち、「シチズン」ブランドの国内市場は、『アテッサ』の販売が堅調に推移したほか、プレミアムブランドの『ザ・シチズン』の販売が牽引し、増収となりました。海外市場のうち北米は、『アテッサ』や『シチズン エル』などのグローバルサブブランドの販売拡大により、主要流通である百貨店流通に加え、トラベル流通の販売が好調に推移したほか、自社ECを含むオンライン販売も大きく伸長し、大幅な増収となりました。欧州は、グローバルサブブランドの『プロマスター』などが販売を伸ばしたほか、機械式時計も製品ラインナップ拡充などに伴い販売が好調に推移し、増収となりました。アジアは、タイやインドなどにおいて販売が堅調に推移し、増収となりました。

「グローバ」ブランドは、主力の北米において、主要流通である百貨店流通に加え、トラベル流通の好調が販売を牽引したほか、自社ECも大きく販売を伸ばし、大幅な増収となりました。

ムーブメント販売は、機械式ムーブメントが各地域で好調に推移したほか、アナログクォーツムーブメントも堅調を維持し、大幅な増収となりました。

以上の結果、時計事業全体では、ブランド提供価値の向上や高付加価値製品の強化に向けた取り組みを進めたことで、売上高は548億円(前年同期比32.1%増)と増収となりました。営業利益は、主に北米の完成品販売の売上高増加とムーブメント販売の売上高増加などにより、71億円(前年同期比62.1%増)と増益となりました。

(工作機械事業)

国内市場は、半導体関連の販売が増加したほか、自動車関連などにも緩やかな市況の回復が見られ、増収となりました。海外市場のうち米州は、半導体関連と医療関連の販売が堅調に推移し、増収となりました。欧州は、時計関連や航空機関連の販売が回復基調となり、増収となりました。アジアは、中国の半導体関連の販売が大きく伸長し、増収となりました。

以上の結果、工作機械事業全体では、売上高は256億円(前年同期比35.0%増)と増収となりました。営業利益は売上高の増加により、32億円(前年同期比112.5%増)と大幅な増益となりました。

(デバイス事業)

自動車部品は、自動車メーカーの生産の回復が力強さを欠き、前年並みとなりました。小型モーターは、市況が緩やかに復調したほか、医療関連などの販売が堅調に推移し、増収となりました。セラミックスは、光通信向けなどのサブマウント製品の販売が好調に推移し、増収となりました。プリンターは、フォトプリンターが安定した需要を背景に販売が伸長し、増収となりました。

以上の結果、デバイス事業全体では売上高は176億円(前年同期比19.5%増)、営業利益は13億円(前年同期比235.9%増)と増収増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ104億円増加し、4,787億円となりました。資産の内、流動資産は、受取手形及び売掛金が28億円、棚卸資産が70億円増加したこと等により、86億円の増加となりました。固定資産につきましては、繰延税金資産が8億円増加したこと等により、17億円の増加となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ58億円増加し、1,720億円となりました。これは、支払手形及び買掛金が52億円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が31億円、為替換算調整勘定が17億円増加したこと等により45億円増加し、3,067億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、主力の時計事業において、北米市場を中心に「シチズン」及び「ブローバ」ブランドの好調な販売が継続する見込みであるほか、ムーブメント販売も機械式ムーブメントを中心に好調に推移しています。工作機械事業では、半導体関連の旺盛な需要に加え、幅広い業種で設備投資需要が回復傾向にあり、良好な受注環境が続く見通しです。また、デバイス事業においても、フォトプリンターをはじめとする主力製品の販売が堅調に推移しています。

以上のことから、第1四半期連結業績の上振れや想定為替レートの変更などを反映し、通期業績予想及び通期セグメント別業績予想を下記の通り修正いたしました。

なお、第2四半期以降の想定為替レートにつきましては、1 U S Dは150円から155円、1 E U Rは175円から180円に変更しています。

2027年3月期 通期連結業績予想の修正 (2026年4月1日～2027年3月31日)

		前回発表予想 (2026年5月13日)	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	百万円	362,000	395,000	+33,000	+9.1%
営業利益	百万円	34,500	40,500	+6,000	+17.4%
経常利益	百万円	37,500	43,500	+6,000	+16.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	27,500	32,000	+4,500	+16.4%
1株当たり当期純利益	円 銭	112.71	131.15	—	—

セグメント別売上高明細

		前回発表予想 (2026年5月13日)	今回修正予想	増減額	増減率
時計事業	百万円	201,000	223,000	+22,000	+10.9%
工作機械事業	百万円	95,000	104,000	+9,000	+9.5%
デバイス事業	百万円	66,000	68,000	+2,000	+3.0%
合計	百万円	362,000	395,000	+33,000	+9.1%

セグメント別営業利益明細

		前回発表予想 (2026年5月13日)	今回修正予想	増減額	増減率
時計事業	百万円	25,500	29,000	+3,500	+13.7%
工作機械事業	百万円	11,500	13,500	+2,000	+17.4%
デバイス事業	百万円	4,000	4,500	+500	+12.5%
消去または全社	百万円	△6,500	△6,500	+0	—
合計	百万円	34,500	40,500	+6,000	+17.4%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,564	104,043
受取手形及び売掛金	62,048	64,912
電子記録債権	2,026	2,166
商品及び製品	67,999	69,905
仕掛品	28,559	33,534
原材料及び貯蔵品	25,420	25,547
未収消費税等	4,198	5,054
その他	10,430	9,760
貸倒引当金	△1,237	△1,221
流動資産合計	305,011	313,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,533	49,068
機械装置及び運搬具（純額）	19,872	20,981
工具、器具及び備品（純額）	5,559	5,272
土地	12,333	12,340
リース資産（純額）	9,906	10,108
建設仮勘定	7,217	7,249
有形固定資産合計	104,422	105,020
無形固定資産		
ソフトウェア	7,008	7,015
その他	868	863
無形固定資産合計	7,877	7,878
投資その他の資産		
投資有価証券	39,945	40,313
繰延税金資産	8,562	9,394
その他	2,562	2,503
貸倒引当金	△78	△82
投資その他の資産合計	50,992	52,129
固定資産合計	163,292	165,028
資産合計	468,303	478,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,616	28,860
電子記録債務	7,703	7,639
設備関係支払手形	10	10
営業外電子記録債務	2,433	1,399
短期借入金	10,011	10,011
未払法人税等	4,798	5,235
未払費用	14,584	15,811
賞与引当金	7,454	9,659
役員賞与引当金	340	—
製品保証引当金	1,625	1,676
その他	14,180	12,799
流動負債合計	86,760	93,106
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	37,020	37,017
繰延税金負債	2,759	2,423
事業再編整理損失引当金	3	3
退職給付に係る負債	14,762	14,721
リース債務	8,946	8,950
過年度関税等引当金	3,532	3,588
その他	2,385	2,192
固定負債合計	79,410	78,896
負債合計	166,171	172,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	34,697	34,697
利益剰余金	157,824	160,995
自己株式	△1,780	△1,781
株主資本合計	223,391	226,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,283	13,148
為替換算調整勘定	53,981	55,724
退職給付に係る調整累計額	2,528	2,454
その他の包括利益累計額合計	69,793	71,328
非支配株主持分	8,948	8,840
純資産合計	302,132	306,729
負債純資産合計	468,303	478,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	75,282	98,129
売上原価	42,787	54,076
売上総利益	32,494	44,053
販売費及び一般管理費	27,794	34,140
営業利益	4,699	9,913
営業外収益		
受取利息	292	282
受取配当金	365	402
持分法による投資利益	388	596
為替差益	430	662
その他	209	150
営業外収益合計	1,687	2,094
営業外費用		
支払利息	96	130
その他	123	109
営業外費用合計	220	240
経常利益	6,166	11,767
特別利益		
固定資産売却益	18	22
投資有価証券売却益	5,680	—
子会社清算益	—	872
その他	0	1
特別利益合計	5,698	895
特別損失		
固定資産除却損	18	17
固定資産売却損	5	0
社会保険料追加負担金	107	1
過年度関税等	—	※ 358
その他	0	11
特別損失合計	130	390
税金等調整前四半期純利益	11,734	12,273
法人税等	2,597	3,395
四半期純利益	9,137	8,878
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△49	△43
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,186	8,921

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	9,137	8,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,760	△134
為替換算調整勘定	△1,087	1,664
退職給付に係る調整額	△115	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	△179	123
その他の包括利益合計	△5,143	1,571
四半期包括利益	3,994	10,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,065	10,455
非支配株主に係る四半期包括利益	△71	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	41,529	18,994	14,758	75,282	—	75,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	111	642	776	△776	—
計	41,551	19,106	15,400	76,058	△776	75,282
セグメント利益	4,404	1,512	401	6,318	△1,618	4,699

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△1,618百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,635百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	54,847	25,650	17,631	98,129	—	98,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	112	793	937	△937	—
計	54,878	25,763	18,424	99,066	△937	98,129
セグメント利益	7,138	3,214	1,348	11,701	△1,788	9,913

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△1,788百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,804百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 過年度関税等

当社の連結子会社であるシチズン・ウォッチ・カンパニー・オブ・アメリカInc. (以下「CWUS」という。)は、腕時計の輸入に関して、米国国土安全保障省税関・国境取締局(以下「米国当局」という。)より関税の計算にかかる考え方の相違から関税が過少となっている旨の指摘を受け、これに対して反論書の提出等を行ってまいりました。前連結会計年度において米国当局によりCWUSの主張を受け入れないとの判断が示され、2018年から2021年までの期間にかかる関税等の請求を受けたため、過年度関税等として特別損失に計上しました。当第1四半期連結会計期間においては、2021年の残りの期間にかかる追加の関税等の請求を受けたため、358百万円を過年度関税等として特別損失に計上しております。これまでに、請求を受けた2018年から2021年までの期間にかかる関税等については全額納付を行っておりますが、当該請求について提訴するかどうかにつきましては検討中であります。

なお、2022年以降の期間については、現時点において関税等が過少となっている旨の指摘は受けておりませんが、今後、米国当局の判断、請求により追加の関税等が発生し、損失が生じる可能性があります

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,477百万円	3,931百万円